

令和2年度 雲仙ふるさと景観百選受賞作品
【雲仙温泉の夜明け／撮影場所：白雲の池～妙見岳（小浜町）】

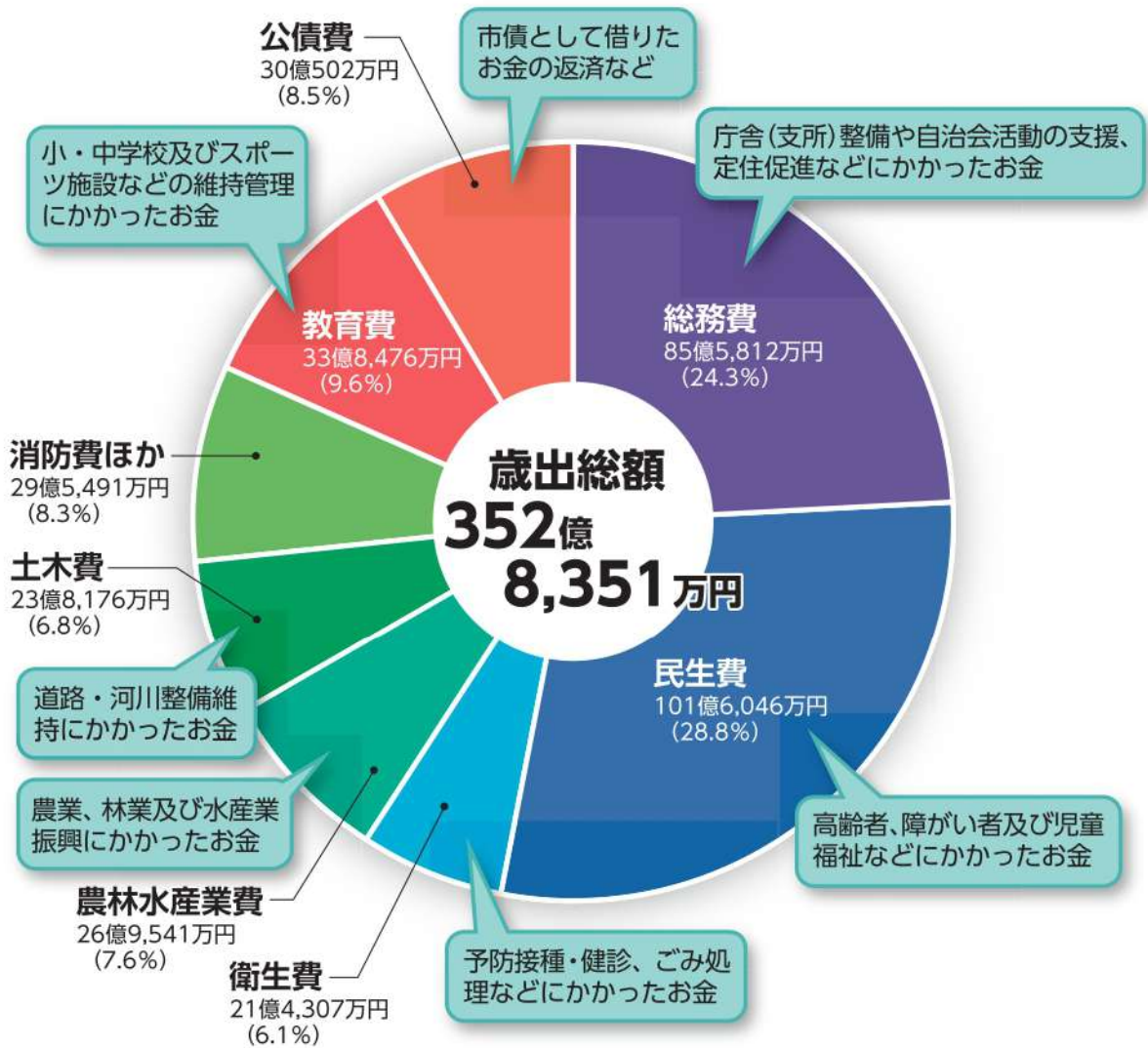


主な内容

- P4 令和2年度決算 注目事業
- P10 常任委員会報告
- P13 市政を問う「一般質問」
- P15 議会のうごき

352億8,351万円

[前年度比13.9%]



市民1人当たりの借金 52万9,979円



市債（地方債）と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人当たりの貯金 53万765円

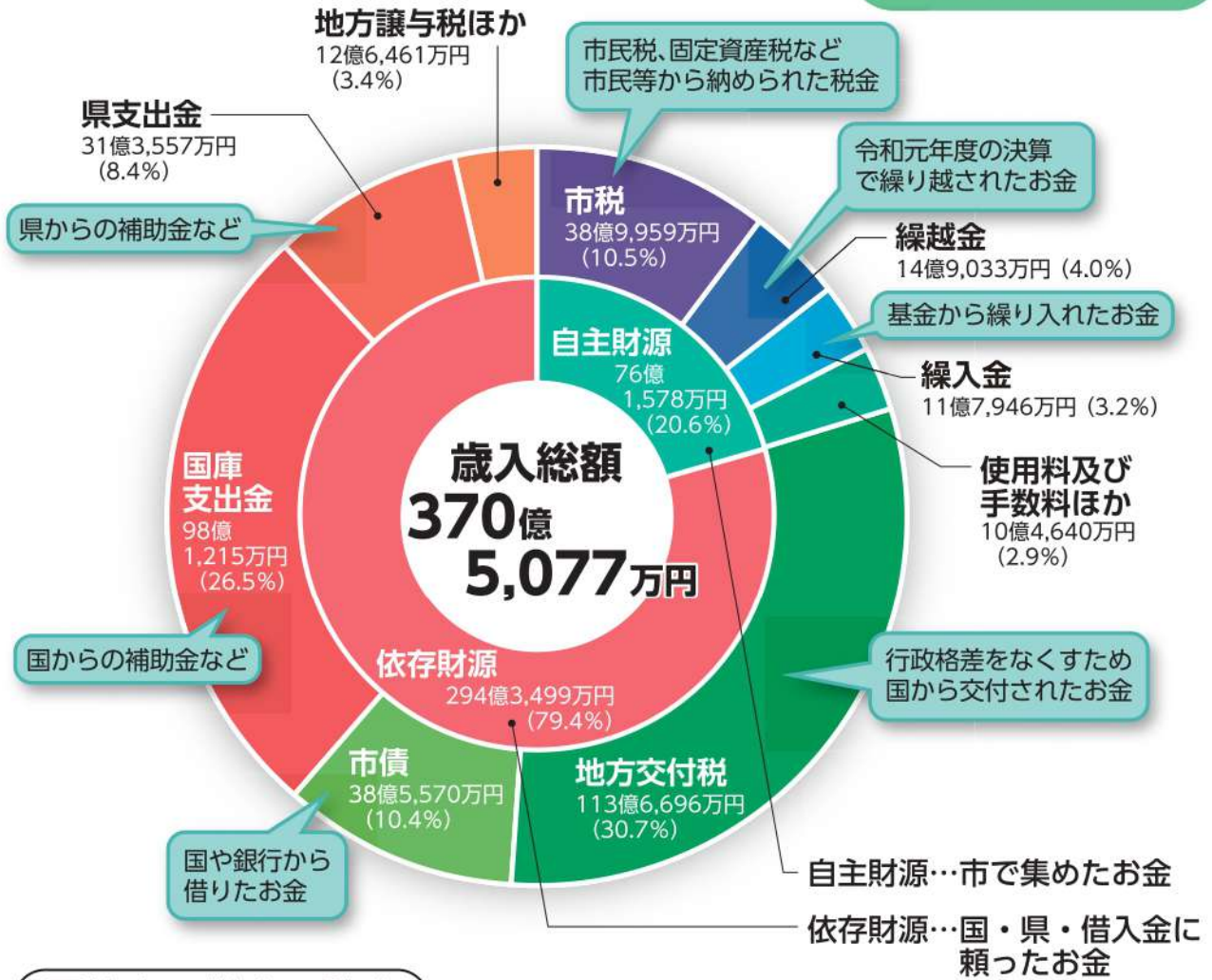


積立金（基金）と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

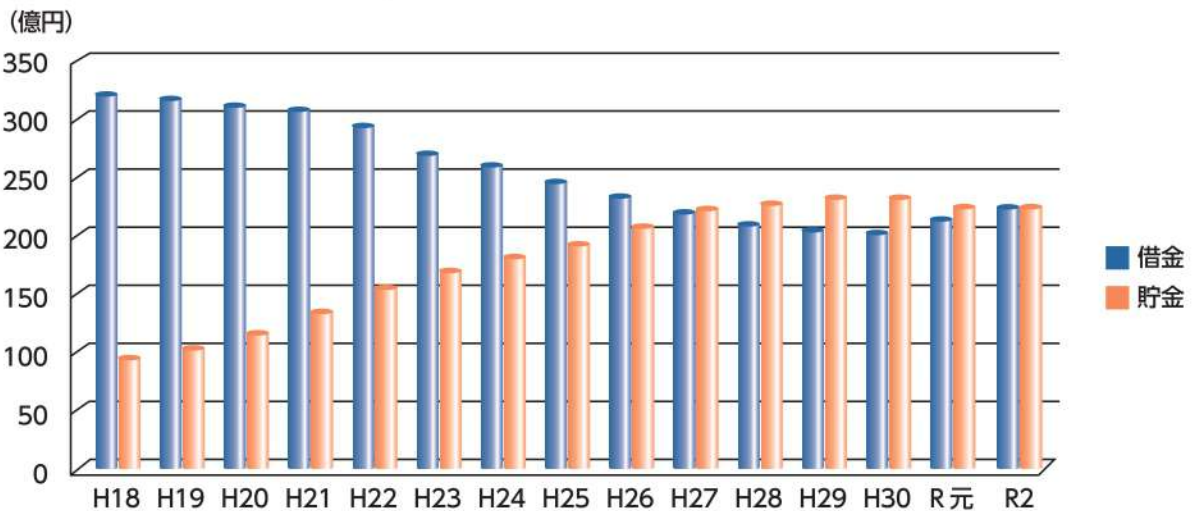
決算

一般会計歳出

決算の内訳



雲仙市の借金と貯金



庁舎整備事業 2億8,561万円



(仮称) 新瑞穂総合支所新築工事の着工、及び旧愛野総合支所の解体工事を行いました。
瑞穂総合支所・瑞穂町公民館 令和3年9月21日開所

令和2年度 決算 注目事業

市の予算がきちんと執行されたか、各常任委員会で慎重審査し、すべての会計決算を認定しました。

その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

決算額は、令和2年度のみのものであり、全体事業費ではありません。

特別定額給付金給付事業

43億1,323万円

日本にお住まいの、すべての方へ。
お1人につき

10万円 特別定額
給付金

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、迅速かつ確に家計への支援を行うため特別定額給付金を給付しました。

超高速ブロードバンド 基盤整備事業

1億4,242万円



超高速ブロードバンド環境の市内全域整備に向け、光回線整備事業者に対し、令和2年度分整備に係る基盤整備費補助金を交付しました。

新構造改善加速化 支援事業

5,777万円



トルコギョウハウス

農業所得向上・経営の省力化による強い経営体の育成及び農山村の活性化に必要な施設機械の導入の支援を行いました。

ひとり親世帯臨時特別 給付金支給事業

6,114万円



低所得のひとり親世帯を対象に、負担の増加や収入の減少に対する支援として臨時特別給付金を支給しました。

雲仙市緊急消費喚起 対策事業

1億8,205万円

雲仙市緊急消費喚起対策商品券

飲食店用 ¥500

有効期限 令和3年2月28日(日)

雲仙市緊急消費喚起対策商品券

共通商品券 ¥500

有効期限 令和3年2月28日(日)

市内の消費を促すため、市民を対象に予め登録してある市内の店舗で利用できる商品券を発行しました。

南串山 漁港施設整備事業

8,578万円



就業環境の改善及び地域住民の車両通行の安全性の向上を図るための臨港道路整備等を実施しました。

小・中学校教育環境整備事業

2億4,872万円



児童・生徒の教育環境の向上のため、タブレット端末購入及び校舎の普通教室に無線LAN設備工事を行いました。

雲仙市緊急宿泊促進 支援事業

5,812万円



市民を対象に市内宿泊施設の利用を促すことにより、市内観光産業の活性化を図りました。

小浜体育館整備事業

13億9,760万円



さまざまなスポーツやレクリエーションの拠点施設として、小浜体育館新築工事が着工されました。

令和4年4月開館予定

令和3年 第3回定例会の概要

8億5,102万円の増額補正(第7~9号)で、
補正後予算額は343億5,815万円

令和3年度 一般会計補正予算(第7~9号)の主な事業

民間保育所障害児保育事業 補正額 1,029万円 補正後 2,325万円

(目的) 障害を有する児童に対し、集団生活を送る手助けを行うことにより、心身共に健やかに育つためのサポート体制を築くため、事業を実施する保育所等へ補助金を支給する。

(事業内容) ①補助対象 身体障害者手帳、療育手帳等により障害が認められた児童を保育する施設

- ②補助基準額等
- ・対象児童1名に保育士1名 15万円/月
 - ・対象児童1名に保育士0.5名 10万円/月

経営継承・発展等支援事業【新規】 1,000万円

(目的) 地域農業の担い手の経営を承継した後継者に対して、その経営を発展させる取組に対して支援する。

(事業内容) ①補助対象 経営の発展に必要な経費等(新たな品種・部門等の導入、販路開拓等)
②補助率 10/10以内(上限額100万円)

高収益作物持続化支援事業【新規】 200万円

(目的) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、価格、消費低迷が続き危機的状況に陥っているなか、次期作に前向きに取り組む市内花卉農業者を支援する。

(事業内容) ①助成対象 次期作に必要な経費等(種苗や資材の購入費等)
②助成内容 10a当たり2.5万円

雲仙市産業サポート事業 補正額 2,056万円 補正後 4,472万円

(目的) コロナ収束後を見据えて、創業や新商品開発など、事業継続、経営改革に意欲的に取り組む事業者を支援する。

(事業内容) ①補助対象者 認定候補事業者
②補助内容

- ・創業・経営改革 補助率1/2以内(限度額300万円)
- ・買物弱者支援 補助率1/2以内(限度額300万円)
- ・新型コロナウイルス感染症対策 補助率2/3以内(限度額300万円)

災害廃棄物処理事業【新規】
農林水産業施設災害復旧費
公共土木施設災害復旧費

1億3,127万円
補正額 **5,171万円**
補正額 **2億7,417万円**

〔目的〕 今年8月の大雨による土砂災害等により発生した災害廃棄物の適正な処理、並びに被災した農林業用施設、及び公共土木施設について、速やかに機能回復を図り、被災地域の早期復旧を図る。

雲仙市事業継続支援金(商工)【新規】

1億4,020万円

〔目的〕 新型コロナウイルス感染症拡大が本市経済に与える影響はますます深刻になっているため、支援金を支給することにより、市内事業者の事業の継続を支援する。

- 〔事業内容〕
- ①対象者 市内の中小・小規模事業者
 - ②支給条件 8月、9月の月間売上が、前年または前々年の同月と比較して20%以上減少していること
 - ③支給額 1事業者1カ月当たり上限10万円(最大10万円×2カ月)



意見書を国へ送付しました

※意見書の文面は、抜粋を掲載しています。

**コロナ禍による厳しい財政状況に対処し
地方税財源の充実を求める意見書**

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれることから、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、確実に実現されるよう強く要望するもの。



【提出先】 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 経済産業大臣 経済再生担当大臣

令和3年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第66号	専決処分した事件の承認について（令和3年度雲仙市一般会計補正予算（第5号））	承認
議案第67号	長崎県病院企業団の共同処理する事務の変更及び長崎県病院企業団規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第68号	デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案第69号	雲仙市行政財産使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	雲仙市安全・安心ステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	雲仙市瑞穂ヘルシー会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	雲仙市千々石老人福祉センター橋荘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第73号	雲仙市小浜老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第74号	雲仙市立木場ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第75号	雲仙市保健センター及び保健福祉センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第76号	雲仙市吾妻就業改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第77号	雲仙市小浜北串住民センターの設置、利用及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第78号	雲仙市国見農村環境改善センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第79号	雲仙市千々石下峰多目的集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第80号	雲仙市愛野農業研修センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第81号	雲仙市富津漁民センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第82号	雲仙やまびこ会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第83号	雲仙市小浜公会堂の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第84号	雲仙市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第85号	雲仙市文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第86号	雲仙市神代小路まちなみ交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第87号	雲仙市みずほすこやかランドふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第88号	雲仙市監査委員に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第89号	雲仙市水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第90号	損害賠償の額の決定について	原案可決
議案第91号	訴えの提起について	原案可決
議案第92号	専決処分した事件の承認について（令和3年度雲仙市一般会計補正予算（第6号））	承認
議案第93号	令和3年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 94 号	令和 3 年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）案について	原案可決
議案 第 95 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第 96 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第 97 号	市有財産の処分について	*原案撤回
議案 第 98 号	字の区域の変更について	原案可決
議案 第 99 号	雲仙市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
議案 第100号	雲仙市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第101号	令和 3 年度雲仙市一般会計補正予算（第 8 号）案について	原案可決
議案 第102号	令和 3 年度雲仙市一般会計補正予算（第 9 号）案について	原案可決
認定 第 1 号	令和 2 年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	令和 2 年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	令和 2 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	令和 2 年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	令和 2 年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	令和 2 年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	令和 2 年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定
認定 第 8 号	令和 2 年度雲仙市下水道事業会計決算認定について	認 定
発議 第 3 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	原案可決
発議 第 4 号	雲仙市議会基本条例の一部を改正する条例について	原案可決

※原案撤回とは？

市長が議会へ提出した議案に対し、その会期中に市長から議長へ撤回の申し出がなされた場合、本会議での議決（撤回の承認）が必要となる。

賛 否 表

議席番号	議席番号																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			
※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。	結 果	表 決 数	藤本淳次郎	山本松一	大山真一	矢崎勝己	渡辺勝美	佐藤義隆	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	上田篤	町田康則	大久保正美	小畑吉時	元村康一	小田孝明	深堀善彰	
令和 2 年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和 2 年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和 2 年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（松尾文昭）は、採決に加わらない。

総務

委員会

委員長 小田 孝明
 副委員長 町田 康則
 委員 松尾 文昭
 大久保 正美
 坂本 弘樹
 矢崎 勝己
 藤本 淳次郎

過疎対策事業債

問 「過疎対策事業債」には上限額があるのか。

答 ソフト事業とハード事業に区分され、ソフト事業のみ自治体ごとに上限額が設定されており、令和3年度では、雲仙市には2億6680万円が上限額とされている。

問 自主財源を確保するため過疎対策事業債を有効活用し、市として発電事業等を計画する考えはないのか。

答 再生可能エネルギー関係に限らず、あらゆる方向から検討していきたい。財政措置の有利な過疎対策事業債の活用が可能となったことによる財源組替えて、合併特例事業債

問 過疎対策事業債の令和2年度末の残高は約65億円であり、活用可能な期間が令和7年度までとなっているので、それまで有効に活用していきたい。

答 合併特例事業債の令和2年度末の残高は約65億円であり、活用可能な期間が令和7年度までとなっているので、それまで有効に活用していきたい。

問 過疎対策事業債とは？

答 過疎地域に指定された市町村が策定した過疎地域持続的発展市町村計画に基づき実施する事業の経費について借り入れることができる地方債

問 合併特例事業債とは？

答 合併した市町村が策定した市町村建設計画に基づき実施する事業の経費について借り入れることができる地方債

財政課



決算

特別定額給付金事業

問 特別定額給付金事業（一人当たり10万円）の給付率は99・9%であるというが、残り0・1%の方に支給できなかった理由は？

答 32名の方に給付できなかった。その内訳は、申請書に「給付金の受取りを希望しない」と意思表示された方と、最初から申請書を提出しないという方である。

地域づくり推進課



雲仙地区の被災状況

☆今回、瑞穂総合支所・瑞穂町公民館、雲仙地区の被災地、合計2カ所の現地調査も行いました。

公共施設の使用料改正

公共施設使用料の整合性を精査し9月定例会で条例改正を行うべきとの付帯決議を受け、市の類似施設使用料の料金変更の改正案（健康福祉部所管5件、教育委員会所管4件）が提案された。

問 利用者にとって密接な料金改正のため、広く周知する方法はどうか。

答 方法については広報うんげん11月号並びに市のホームページでの周知を考えている。使用料が増額する部分もあるため、施行日まで周知に努めたい。

健康福祉部／教育委員会

愛野小学校校舎増築工事

問 改修で普通教室が3クラス増える予定であるが、今後の児童数の見込みはどのようになるのか。

答 現在、愛野小学校の児童数は442名であるが、令和5年度には445名となり3名の増と見込んでいる。定員の関係でクラスが増える見込みである。

教育委員会総務課

健康診査事業

問 新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えにより、がんの発見が遅れ重症化しているとの報道があるが、本市の受診率の動向は把握しているのか。

答 受診率は低く推移しているため引き続き勧奨を行い、がんの早期発見を重要なものとして今後もより強く周知していく。



健康づくり課

GIGAスクール構想

問 タブレット端末配置はどのように運用されているのか。

答 使用状況は児童生徒が校内のネットワークに接続して教員から子どもたちへ課題提示や通信ができる状況である。授業は理科の実験や算数の発表用にタブレットで図形を書いたものを電子黒板に投影して見るなどの活用をしている。

学校教育課



文教厚生

委員会

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 委員長 | 佐藤 義隆 | 元村 康一 |
| 副委員長 | 渡辺 勝美 | 吉時 康一 |
| 浦川 康二 | 大山 真一 | |

産業建設

委員会

委員長	山本 松一	深堀 善彰
副委員長	平野 利和	酒井 恭二
上田 篤	林田 哲幸	

訴えの提起

問 交渉回数が46回となっているが、どのような交渉を行ってきたのか。

答 市道木場山領線道路用地として買収交渉を行ってきたが、対象相続人となかなか面談がかなわず、ほとんど電話での交渉であった。

問 訴えの提起を早く決断できなかったのか。

答 通常の方法で用地の取得を図りたいとの事から買収交渉を続けてきたが、工事の進捗により令和4年度と5年度に当該用地が工事計画予定箇所に入ることから、今の時期となった。

道路河川課／用地課

決算 漁業後継者育成事業

問 次世代を担う8名の方が育成中との事だが、過去に後継者として残らない方はいたのか。

答 途中で2名リタイアされ、その方については補助金相当分を返還されている。

農漁村整備課



決算 海外宣伝誘致事業

問 コロナ禍に効果はあっているのか。

答 コロナ禍に直接的な誘致活動は困難であるが、コロナ収束後を見越して、魅力を十分に伝えておくことが必要で、インバウンドが再開した時に出遅れないよう今のうちからきめ細やかに情報を発信し続けたい。

決算 ふるさと応援寄附金

問 寄附額が前年度から減少しているが、その原因は何か。

答 令和2年度から、ふるさとチョイスのポイント制を廃止し、寄附と同時に返礼品を注文してもらう方法に変更したことにより、リピーターの寄附額が減少した。また、ポータルサイトを4サイト追加し、返礼品も増やしたが、その効果が令和2年度中には出てこなかった。

観光物産課



雲仙地区の被災状況



急傾斜地崩壊対策工事

市政を問う 4名の議員が一般質問

0:05 57分



平野 利和…… P 13 矢崎 勝己…… P 14
上田 篤…… P 14 大山 真一…… P 15

一般質問は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。

地球温暖化対策を推進



ひらの としかず
平野 利和議員

議員 今年の夏の異常気象

のせいか猛暑が続き、ニューヨークでは北極の氷が溶けだしている。2100年になると海面が1・5m以上上昇する。気温の上昇により生活できなくなる気候になるとの衝撃的な報道もあっている。私たちは人間は本当に気候変動の事に取り組まないと大変な時代が来ることに気づかねばならない。さもないと、多くの災害により自分の身近で人命が奪われる経験をする時代が来る事を知り、そのことを避ける手立てを今から考えるよう訴えたい。そこで、国では、脱炭素社会に向け、先進的に取

り組む自治体に対し2022年度から優先配分する新交付金が創設され、少なくとも100カ所選ぶ方針のようだ。『再エネの最大限の導入計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業』の公募に手を挙げて欲しい。

環境水道部長 全国的に動きが加速化するであろう『2050年カーボンニュートラル』に向け、本市としても、国の補助事業を活用し、再生可能エネルギー導入計画を策定したい。その後、計画の実行に向けゼロカーボンシティの表明を行い、先行地域100カ所に選定されるよう積極的に取り組み、脱炭素社会へ向けて全力で邁進していく。

※レジリエントとは？
弾力、回復力があるさま

学校の校則の見直しは



やぎき かつみ
矢崎 勝己 議員

議員 小・中学校、高校の校則の見直しの考えは。

教育次長 社会や生活環境の変化、児童生徒や保護者の要望などにより不断の見直しを適切にし、児童生徒、保護者、教職員、地域の合意を図り、各学校にふさわしい校則を日々追求していくことが大切である。

市民アンケート

議員 今回取り組んできた市民アンケートの結果を要請書として金澤市長に届けたが、その内容に対する感想や対応の考えは。

市長 市民皆さまの声を幅広く拝聴する機会をいただき

ますことは、市政運営に大変有用である。今後の市政運営の参考にする。

副市長 担当部署で精査を含め対応を整理し、関係する国、県の方針を踏まえ対応が可能なことから対処する。

コロナ感染症対策

議員 本市のワクチン接種の現状と目標接種率は。

健康福祉部長 1回目の接種率が74・9%、2回目が63%であり、国・県の接種状況より進んでいる。また、集団免疫の効果があるとされている70%を目標としている。

議員 ワクチン接種とセットでPCR検査を受けられる体制を構築することを、国に對し要望・要請すべきでは。

部長 市の役割としては、基本的な感染防止対策を徹底するよう市民の皆さまへ呼びかけ、協力を求めていることが重要であると考えている。

日本は世界の後進国？

ジェンダーギャップ指数
120位

議員 グローバルジェンダーギャップ指数で、日本の順位は156カ国中120位だ。遅れの要因は何か。

市長 この指数は世界経済フォーラムが2006年から出しているもので、世界156カ国における経済参画、政治参画、教育の到達度、健康の4つの分野で男女不平等の度合いを指数化した上で、世界ランキングを発表し、男女格差の解消を進めることを目的としている。私も日本の現状は深刻だと思う。コロナ禍において、非正規労働者を中心に雇用情勢が急速に悪化する中で、その影響が男性に比べ女性により重くのしかかっ



うえだ あつし
上田 篤 議員

ていること、女性のひとり親世帯や貧困層にある人へ負荷がより大きくなっているという日本のジェンダー不平等の実態もある。この格差解消に向けて、あらゆる分野における女性の地位向上に早急に取り組んでいくべきと考える。

議員 女性の「生理の貧困」という言葉もよく聞く。これは女性、男性も含めたみんながよく知るべき課題だ。ある本に「トイレにトイレトペーパーがあるように生理用品も置くべきだ」という文章があり、①全国の自治体窓口において、生理用品の無償配布を行うこと。②全国の公共施設に無償で使える生理用品を配置すること。などが提案されていた。市内の学校ではこの問題について相談はないのか。

教育次長 相談はない。

議員 奈良県の大和郡山市では、災害備蓄品の配布ではなく、新たに予算を確保したそう。本市もぜひ全国の状況も学んでもらいたい。

防災体制の整備状況は



おおやま しんいち
大山 真一 議員

議員 防災危機管理体制の現状と自主防災組織育成。防災情報システムの活用はどのようになるのか。

市長 本市の体制は地域防災計画で気象情報や災害の状況に基づく配備基準を定めている。今回の大雨で大きな災害を経験したので、今後な一層の危機管理体制の強化を図るとともに自主防災組織の結成促進と活動支援に取り組む。

市民生活部長 防災情報システムを導入するとリアルタイムで情報の取得・共有が可能となり、警戒レベルの発令判断が迅速に行え、市民へ早期の情報提供が可能となる。

スポーツ環境の充実と整備
生涯スポーツの推進

議員 とスポーツツーリズムの展望はどのように考えているのか。

教育次長 新たな生涯スポーツ種目としてパラリンピック競技のボッチャを高齢者でも気軽に楽しめる身近なスポーツとして考えている。スポーツツーリズムにおいては大会や合宿の誘致に取り組んで地域活性化と本市の魅力発信に努めたい。

飼い主のいない猫対策

議員 飼い主のいない猫（野良猫）の被害や対策等の現状はどうなっているのか。

環境水道部長 相談件数は令和元年度40件、令和2年度33件で、相談があつた際には適正飼育や管理の個別指導と県の地域猫活動推進事業の周知啓発を行っている。

議員 人と動物が共生できる地域社会実現の取組を切望し、それを行う自治会等への支援を検討されたい。

部長 県内では支援制度がないが、先進事例等を研究したい。

議会のうごき

9月20日（月）

瑞穂総合支所・瑞穂町公民館開所式が開催され、松尾議長はじめ市議会議員が出席しました。

本施設は、地域の活性化と文化・芸術の場として、令和2年7月に着工され、この度の開所を迎えました。

総工事費約7億4,000万円をかけ、総合支所と図書室、研修室、調理室などの公民館施設が一体となった複合施設として誕生したもので、今後、より地域に密着し、住民の文化・交流の拠点として有意義に広く活用されるよう祈念いたします。



議会を傍聴してみませんか？

令和3年第4回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
12月6日（月）～12月24日（金）です

■一般質問 12月8日（水）～12月10日（金）、12月13日（月）

■議案質疑 12月15日（水）

■委員会

文教厚生常任委員会 12月16日（木）

産業建設常任委員会 12月16日（木）・17日（金）

総務常任委員会 12月17日（金）

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



編 集 後 記



2年前に議会広報委員となり、市民の皆さまへ伝わる広報紙になるよう、委員全員で打ち合わせを重ね、作成してきました。当初の目標である「手に取ってもらえる、読んでもらえる広報紙」を心がけ、検討してきたつもりです。

評価は、選挙後の新しいメンバーに引き継ぎされた時に現れるものと考えます。ご意見を頂いた市民の皆さまに感謝するとともに、これからも住み良い雲仙市となり、市民の皆さまと手を取り合い建設的な広報紙となるように頑張っています。（平野利和）



このメンバーで議会だより63～71号を編集しました。
2年間、ありがとうございました。

議会広報編集特別委員会

委員長 平野利和

副委員長 大山真一

委員 林田哲幸、佐藤義隆、矢崎勝己、藤本淳次郎



編集作業

お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。